

Venēzia

● ● ● ベネチア

主材/マホガニー 塗装/ウレタン



優美な曲線を描くフロントラインと
装飾的な引手や象嵌。
格調高い存在感が魅力です。

伝統的なヨーロッパ家具の流れをくむ、エレガントなデザインベネチアシリーズ

【ベネチア 人気の秘密 10】

1. インレイ《象嵌細工》

熟練の職人の手作業により、厚さ 0.55 mm ほどの単板(木をスライスしたもの)を模様に合わせて切り取り、表面を「焼き砂」で焦がして影の表情をつけ、丹念に貼り合せて形にします。その飾りの本体の表面に埋め込んで、優美な模様仕上げの細工で、ヨーロッパ家具の伝統ある技法を用いています。

2. 異種木目による模様貼り

天板、扉、引出しの表面には、異なる木の表情を活かした帯状の模様貼りを施し、繊細さとシックな印象を高めました。

3. グレージング塗装

着色塗料の拭き残しによる技法で、木目や細かい面の窪みに塗料を拭き残すことにより、アンティーク調のイメージをより印象的にしました。

4. スパッタリング塗装

アンティーク家具で、使い古した味わいを出すための「汚し」の技法で、細かい塗料の粒を散りばめて、温かみと味わい深さを強調しました。

5. 柔らかい曲面のフロントライン

薄い単板を幾層にも貼り合わせた成形技法を活かし、トラディショナルな中にも量感とエレガンスさを表現しました。

6. スマートな表情に仕上げた「猫脚」のライン

本来の「猫脚」はボリュームのある曲線美を持たせますが、ベネチアシリーズは緩やかでさり気ないキュートなラインをアクセントにしました。

7. 繊細なりブライン

扉のまわりに細いリブラインをまわし、繊細なイメージを強調しました。

8. オール塗装仕上げ

コンパクトなシリーズですが、各アイテムの裏面と引出しの中まで塗装を施し、清潔感と高級感を高めました。

9. タッセル模様の引手

扉と引出しの引手には、ヨーロッパ調のタッセル模様(カーテンの飾りふさ)のデザインのものを採用し、クラシカルな装いを強調しました。

10. 「コンパクト」なアイテム構成

マンションなどの住まいを考慮し、限られた空間に無理なく設置出来るように「コンパクト」なアイテム構成となっております。

お気に入りの1点を置くスペースを気にすることなく、お部屋に合わせてコーディネートが楽しめます。

表示の税込価格は8%税率価格となります。
印刷の都合上、商品の色は実物と多少異なる場合がございます。
予告なく一部仕様や価格の変更または廃番になる場合がございます。
在庫状況、配送料金等詳細はお気軽にスタッフまでお尋ねください。

インレイ（象嵌）技法等について

- 5種類の違った突き板を使い、組み合わせによってそれぞれ突き板の表情の差をさらに引き出しています



クロッチ・マホガニー
南アメリカ産



サベリ（柾目）
西アフリカ産



マホガニー（柾目）
インドネシア
ジャワ島産



ピサンピサン
インドネシア
スマトラ島産



ローズウッド
インドネシア
ジャワ島産

インレイ（象嵌）

厚さ0.5mmの突き板を、形に合わせて切り抜き嵌めこむため、大変細かい作業です。



マホガニー（柾目）

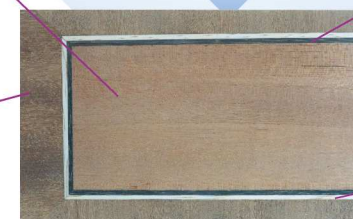


ローズウッド



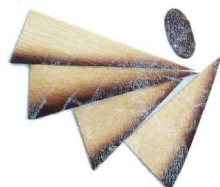
ピサンピサン

ボーダー（飾り縁部分）



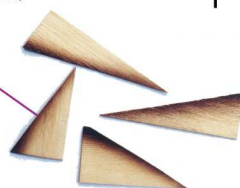
形を整えていく

2



一枚一枚焼き砂で焦げ目をつけ、グラデーションをつけている。

1



ピサンピサン
グラデーション

インレイ（象嵌）

貼り合わせ

3



ローズウッド

技法

4



インレイ完成



サベリ（柾目）
天板及び抽斗前板
（飾り縁）



クロッチ・マホガニー
ブックマッチ貼り



Venezia チェスト120

ベネチア インレイ(象嵌)作成工程

厚さ0.5mmの突板(ピサンピサン材)を
形に合わせて切抜き嵌め込む技法



① チップをサイズ別に裁断



② 高温の砂にて焼き付け



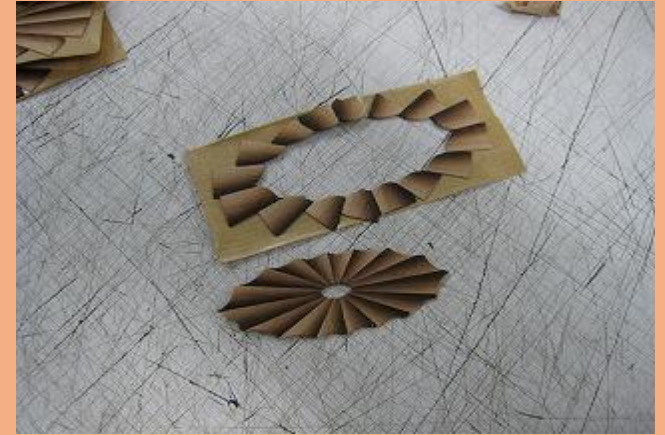
③ 調整カット



④ サイズ別に形を整えて並べていく



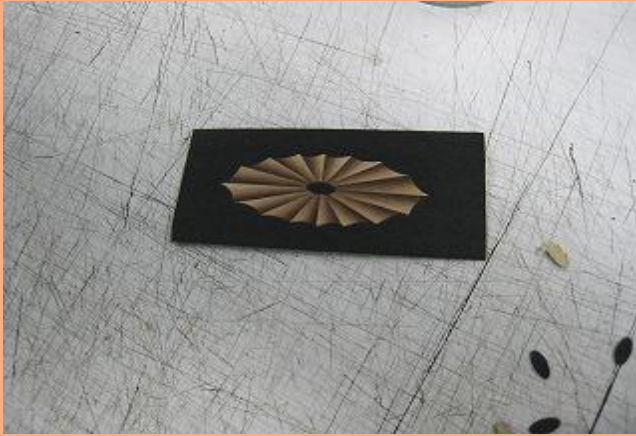
⑤ 1次完成



⑥ 側とセンター部切抜き



⑦ ローズウッド材に貼り合せ



⑧ センターも入れ2次完成



⑨ 側カット後マホガニー突板に埋め込